

第4号様式(第10条関係)

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第8回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	平成20年4月23日(水) 14時00分 ~ 16時00分
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者:除本理史、片山務、鈴木寿子、小林なほみ、樋口豊子、 渡邊順子、比留間勉 欠席者:菊地茂、荒幡耕司、藤居真洋
議 題	1 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画の改訂について 2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について: 答申文を確認し、修正箇所について修正し、各委員に送付し確認することにし、答申日は調整することにした。 議題2について: なし
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	
事務局	平成20年度の、市の組織変更に伴い、生活環境部環境課から市民生活部環境課に名称が変更になった旨の説明を行う。 また、4月1日付の人事異動に伴い、市民生活部長(清水)、環境課長(鈴田)、環境課主査(古川)が着任した旨報告する。 会議に先立ち、市民生活部長から挨拶を行う。 (内容省略)
会 長	定足数に達していることを報告します。 配付されている答申(案)に基づき最終確認を行うことにします。 この確認を行えば、議論は終了すると考えていただきたいのでよろしくお願ひします。
委 員	6ページ以前については問題ないと考えます。

委員	個別意見についても修正されており、問題ないと考えます。
委員	個別意見の項、すべて最後が「必要がある。」で終了している、その他、「ごみ収集カレンダーのデザインを工夫する必要がある。」と記述されているが、どのように工夫するのか記述したい。
事務局	議論では、「一目で分かるように」との御意見でした。
委員	やはり、最後がすべて「必要がある。」で終了しています。語尾が強すぎる感じがします。
会長	<p>収集ごみ量原単位の記述について、前回の比率と同様では根拠がないので、「持込ごみ量を2,000tに抑えることにより、収集ごみ量を算出」したような記述に修正したい。</p> <p>リサイクル率について、定義が書いていない。最終処分量も同様であり、定義を記述していただきたい。また、「最終処分量も削減可能」の記述は、はっきり1,700t以内に抑えられるとしてください。</p> <p>最終処分量についても、目標値には以下と記述してください。</p> <p>7ページの最後、「この数値は」を最終処分量と記述してください。</p> <p>8ページに移ります。「必要がある。」との言い回しが強すぎるとの意見が多いようです。「必要がある。」のままでも良い箇所もありますが、弱めた記述にしたほうが良いと考えるのは、特に有料化の項です。</p> <p>「検討を行う。」或いは、「検討しても良い。」このような記述をお願いします。</p> <p>3項目目も同様です。</p>
委員	2点目は、資源として回収するよう検討委員会も設けられていますので、「必要がある。」でも良いと考えます。
会長	5点目ですが、具体的に書ければよろしいのですが。今後のスケジュールはどのようになりますか。
事務局	ここで出された修正意見をまとめ、各委員に確認の上御了解をいただき、答申をお願いしたいと考えています。
会長	答申を出す場合、セレモニー的なものがあるのですか。

事務局	<p>皆様が出席していただき、会長から答申をお渡ししていただくようお願いいたします。</p> <p>5月中には、答申をお願いしたいと考えています。</p>
会長	<p>市長もお忙しいでしょうが、私も授業等で時間が限られますので、答申日の日程調整をお願いいたします。</p>
委員	<p>ごみ分別辞典(保存版)が以前配付されていましたが、今後その辞典等の配布は考えていないのですか。</p>
事務局	<p>分別辞典は、市報の1ページを使用し配布したものです。その後、冊子方式の辞典の作成を検討しましたが、予算の都合で作成できませんでした。</p> <p>内部的な辞典については、作成してあるのですが。</p>
会長	<p>すぐに配付できる体制になっているのですか。</p>
事務局	<p>外に出す場合は、細部まで再検討する必要があります。</p>
会長	<p>そのボリュームはどの程度なのですか。</p>
事務局	<p>市民等からの問い合わせに対応するために作成してある分別辞典は、概ね30ページ程度になっています。</p>
委員	<p>分別辞典を作成すれば、カレンダーは1枚ですみます。</p>
会長	<p>毎年作成するカレンダーは、1枚で十分だと考えます。</p> <p>カレンダーを簡素化し、分別方法の確認には分別辞典を利用する方法が考えられます。</p> <p>ここの記述は、事務局をお願いいたします。</p> <p>前回の、会議録の確認をお願いいたします。</p>
委員	<p>生ごみ資源化の検討委員会の進捗状況をお知らせ願いたい。</p>
事務局	<p>平成18年9月から現在まで、6回会議を開催しました。その中で、生ごみを受け取る施設があるのかが重要と考え、現在、そのような施設を調査中です。</p> <p>また、出来た堆肥の使用方法の検討、その他、収集方法の細部の検討、モデ</p>

	ル地域の決め方等を検討しております。
委員	生ごみ処理機器の購入補助制度は現在も行っていますか。その人たちに使用状況の調査を行ったことはありますか。
事務局	現在も、補助制度は継続しております。過去に、アンケートを実施した事実があります。
委員	今後、またアンケートを行う予定はありますか。
事務局	御意見をいただければ実施いたします。
会長	アンケートの聞き方が大事です、使用機種により聞き方を変えるようにしたほうが良いと思います。
委員	補助を中止した自治体もあると聞いています。税金を使って補助をしてもすぐに使わない方も多いようです。
会長	使われている状況の調査が必要ですし、使わない理由も聞いたほうが良いですね。電話で、聞く方法もあります。
委員	有料化の問題について、3市で検討を行っていますか。
事務局	有料化については検討しておりません。現在、検討を行っているのは、3市資源化施設についてです。施設建設場所については、案ですが東大和市としています。
委員	焼却処理施設の建て替えについては、延びているのですよね。
事務局	改修により、建て替えを延ばしました。
委員	処理施設を、東大和市に造る方向付けはできているのですね。
事務局	はい。細部は検討中です。
委員	リサイクル率を上げる方策はどのように考えていますか。

事務局	厨芥類を資源物とすることを考えています。
会長	このことについては、引き続き事務局に検討をお願いいたします。 本日は、ここまでいたします。 次回の会議日程等につきましては、事務局と調整してお知らせいたします。

会議の公開・ 非公開の別	公開 一部公開 非公開	傍聴者：_____人
	一部公開又は非公開とした理由 ()	

会議録の開示・ 非開示の別	開示	
	一部開示(根拠法令等:)
	非開示(根拠法令等:)

庶務担当課	市民生活部	環境課(内線:292)
-------	-------	-------------

(日本工業規格A列4番)